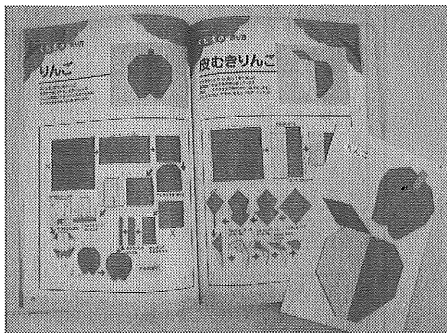


「果物と野菜の折り紙」出版

長崎市場に38年勤務の田尻悦則さん



長崎市中央卸売市場の管理事務所で働いて38年の田尻悦則さんは、野菜と果物の形に折り紙で折る方法をまとめた『くだものやさしいのお

りがみ』(ゆるり出版)を2冊自费出版している。地方自治体職員には珍しい青果市場ひと筋の勤務経験を活かし、自ら考案したものを紹介。「子供たちが野菜や果物を食べたと思うきっかけになれば」と制作したという。

まず2010年9月にダイコンやカボチャなど6111まで。電話095-839-

野菜36種、果物29種の計65種類の折り方を紹介。ダイコンでは「胸焼けや胃もたれを防ぎ、葉は食物繊維、ビタミンC、カルシウムを含みます」などのように、それぞれの野菜や果物には栄養などの特徴が書かれている。

続いて翌年6月にも野菜・果物各14種の折り方を紹介した続編を出版。

市教委への寄贈のほか、図書館や公民館などにも置いてある。問い合わせは長崎市中央卸売市場(電